

記 事

例会記録

第47回 日本医史学会神奈川地方会 秋季学術例会・日本医史学会9月例会 合同例会

平成28年9月10(土)

鶴見大学・大学会館3階第2会議室

宿題報告

自家感染実験の歴史

日本医史学会神奈川地方会前会長

滝上 正 先生

特別講演

絵で見る顎関節脱臼整復法の歴史

東京慈恵会医科大学客員教授・

鶴見大学客員教授特任教員 杉崎正志 先生

一般演題

「医」の思想と医療倫理教育

東京大学大学院医学系研究科医療倫理学分野

勝井恵子 先生

日本医史学会10月例会

平成28年10月22日(土)

順天堂大学センチュリータワー4階406

1. 医事史料としての『吾園叢書』—明治女医・中央衛生会・伝染病予防他一— 三崎裕子
2. 漢字圏全古医籍の計量史研究 真柳 誠

例会抄録

運命の女神は気まぐれ：所郁太郎の事

加藤 茂孝

所郁太郎の名をご存知ですか？ 夭折しなければ歴史に名を残した人です。

1. 生い立ち

天保9(1838)年2月16日生 美濃国不破郡赤坂宿羽根町(大垣市赤坂町西町)酒造家矢橋捨右エ門亦一の4男。嘉永元(1848)年医師・所伊織の養子。美濃国大野郡西方村(岐阜県揖斐郡大野町西方)。

2. 医学修業

青木松軒(養軒)(加納藩医), 安政2(1855)年安藤桂州(京都), 安政5(1858)年8月2日(20歳, 以下, 満年齢)洋学館(越前大野藩)で伊藤

慎蔵, 万延元(1860)年8月15日(22歳)適塾(大坂)で緒方洪庵に師事。適塾姓名録では550番目/636人。

3. 上医を志す

「医は人の病を医し, 大医は国の病を治す」という語を残しているが, これは陳延之(六朝時代)の「上医医国, 中医医民, 下医医病」の上医を意味し, 国家の役に立ちたいという意欲が強かった。吉田松陰の二十一回猛士, 高杉晋作の東洋一狂士の語を知っていたと思われ, 日本狂士と号した。

4. 長州藩士に

文久2(1862)年6月に京都河原町で開業, そ